



大台ヶ原の特徴

- 雄大な森林景観と渓谷美
  - ・大蛇岩や大杉谷などの断崖やV字谷、多数の滝などが森林と一体となり、変化に富んだ景観を形成
- 希少性の高い森林
  - ・南限のトウヒ林、西日本最大のブナ林、ウラシロモミ林などの自然林
- 多様な動物相
  - ・オオダイカハラサンショウウオなどの固有種を含め多種多様な動物が生息
- 近畿地方有数の山岳国立公園
  - ・吉野熊野国立公園として昭和11年2月に指定

大台ヶ原の自然環境の変化

昭和30年代まで 自然林が比較的多く分布

昭和34年 伊勢湾台風等による風倒木とその撤去  
コケ類の衰退とササ類の侵入

昭和36年 ドライブウェイ開通、植生の踏み荒らし

昭和30年代 周辺部の伐採拡大・人工林化  
シカの増加と大台ヶ原への集中

さまざまな要因により、自然環境が衰退  
特徴的な森林生態系が大きく変容

利用上の問題点

ピーク時の過剰利用の様子

利用による自然への影響

●侵入種の割合(植生調査結果)

ドライブウェイ沿い 約3割

歩道沿い 約1割

□ 侵入種  
□ 在来種

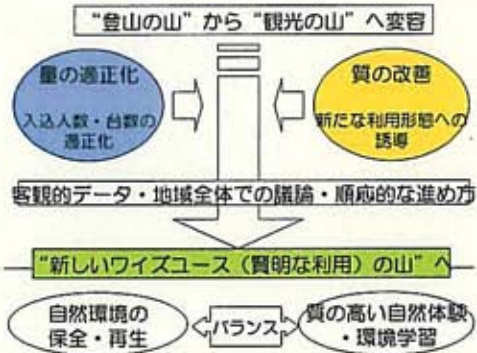
大台ヶ原の魅力を得来に引き継ぐための  
よりよい利用のあり方について  
検討を進めています

大台ヶ原自然再生検討会  
利用対策部会

◆ 視点 ◆

- ・豊かな自然環境、質の高い自然体験
- ・重要な観光資源、地域の活性化

自然環境の保全と新しい利用をめざして



利用のあり方メニュー案

大きな柱として以下の3点を検討しています

- 1 「マイカー規制による利用適正化」
- 2 「より良好な森林地域の保全の強化」
- 3 「総合的な利用メニューの充実」

1 マイカー規制による利用適正化

マイカー規制とは？

■概要



■他地区では・・・

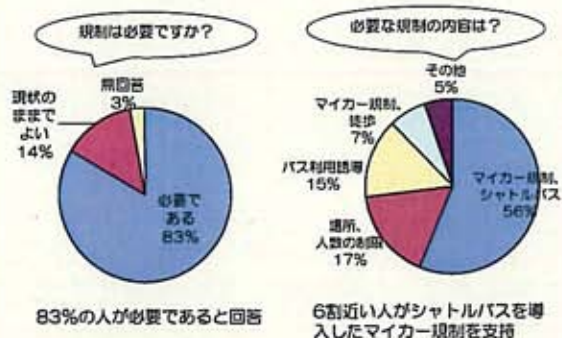
全国28の国立公園のうち、半数以上の15の公園で実施

マイカー規制：大台ヶ原の場合

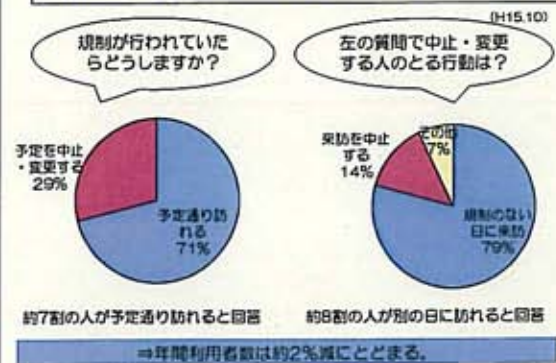
ピーク時（年間20日間程度）の問題点



利用者の意識（大台ヶ原でのアンケート結果(H15.10)）



利用者の行動予測（大台ヶ原でのアンケート結果）





### シャトルバスの乗換え駐車場候補地

地区	辻堂山付近造成	和佐又山残土留場	川上村白川渡
所在	上北山村	上北山村	川上町
距離	近	中	遠
容量	要検討(要造成)	約300台	約300台



それぞれに課題あり(環境影響・コスト・安全性等)  
⇒今後具体的に検討

### 2 より良好な森林地域の保全の強化

利用調整地区の導入を検討しています  
利用調整地区とは？  
(平成14年自然公園法改正により新たに導入)

公園利用者の立ち入りを認定性とする



自然環境への影響の低減  
将来にわたって良好な自然環境を保全  
より深い自然とのふれあいの場を確保

他地区では・・・ 知床・小笠原などで導入に向け調整中

### 利用調整地区の検討

大台ヶ原では・・・

- 西大台を中心に検討
- ガイドツアーとの組合せによる質の高い自然体験を目指す

⇒地元団体等による管理運営体制の構築

### 3 総合的な利用メニューの充実

自然環境の  
保全・再生

質の高い  
自然体験・環境学習

を実現するため

多様な利用メニュー案を検討しています

### 総合的な利用メニュー案

- 1) 登山道・自然観察路の充実
- 2) キャンプ指定地の設置
- 3) 山上駐車場周辺の活用
- 4) 自然解説・自然体験プログラムの充実
- 5) 情報提供・情報発信の充実
- 6) ビジターセンター機能の充実

⇒いずれも地元との連携・協力が不可欠

### おわりに

以上のような案について、今後より具体的に検討していく予定です

みなさんと共に  
よりよい大台ヶ原の利用を  
実現していきたいと考えています